

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和元年度第1回野外体験教室運営協議会				
事務局 (担当課)		相模川自然の村野外体験教室 電話042-760-5445(直通)				
開催日時		令和元年7月9日(火)14時00分~16時00分				
開催場所		相模川自然の村野外体験教室 3階 応接室				
出席者	委員	10人(別紙のとおり)				
	その他	無				
	事務局	6人(渡邊所長 他5人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		<p>所長挨拶 委嘱状交付 委員自己紹介・職員自己紹介 相模原市立野外体験教室運営協議会要綱説明 会長・副会長の選出及び挨拶 互選により、会長に福井智紀氏、副会長に中里健氏を選出した。</p> <p>議題</p> <p>1 平成30年度事業報告等について (1) 施設の概要について (2) 利用状況について (3) 活動状況について(学校利用・主催事業等) (4) アンケートの結果から</p> <p>2 平成31年度(令和元年度)事業計画等について (1) 運営方針について (2) 利用計画について (3) 主催事業、地域連携、他課との連携計画について</p> <p>3 協議・意見交換</p> <p>4 その他</p>				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 平成30年度事業報告等について

(1) 利用状況について

スライドにより説明。(質疑なし)

(2) 利用状況について

年報の1、2及び7ページにより説明。(質疑なし)

(3) 活動状況について(学校利用・主催事業等)

年報の11、26、24、10、25、12及び27ページの順に説明。

若あゆの主催事業「食農体験デー」について、当選者数32家族に対して参加者数が27家族となっている。応募が多く、人気があると思うので再抽選する等の方法を考えてはどうかと思うが。

当日にキャンセルが出ることもあり、多めに当選を出している。体調不良等による当日キャンセルは繰上げ当選が難しい状況ですが、今後何らかの方法を検討してまいりたいと考えております。

体験別メニューについて、小学校は満遍なく選択されているが、中学校は体験活動プログラムよりも集団づくりのための活動やクラスをまとめるための活動を求めているのではないか。4クラス以上だと若あゆに来て体験活動を選択するしかない。検討が必要ではないか。

昨年度からクラス単位の活動を大幅に増やし、仲間づくりが行えるよう変更を行っています。

小学校と比べ、中学校では教科にリンクするプログラムを行えないか。

課題の一つとして捉えている。国も長期宿泊の方が学びが深まると考えているが、年一回の宿泊では難しい状況である。中世の山城である城山にハイキングではなく、歴史学習として行くようにしたりであるとか、相模川の流れや岩石、地層等の学習について博物館と連携して行っています。

星空の学習等、学校では出来ない活動に教科学習に繋げる可能性があるのではないか。

食文化を担当しており児童生徒に「地産地消」等いろいろな話をしているが、事前に学習してくることで学びが深まる傾向である。

語学と結びつけてもよいのではないか。

やませみでは学校教育課の事業で同様の実績があります。

いろいろな意見が出たが、今すぐというわけにはいかないが長期的に見直していく必要がある。

傷病状況の掲載には今回から掲載したもののか。

以前から掲載しています。

大きな事故やケガはあったか。

マウンテンバイクによる骨折が昨年度ありました。その他には熱中症等がありました。

引率者の保健室利用があるが。

公務災害となるようなケガではなく、インフルエンザによる発熱や体調不良等がありました。累計となるため、対象者が1人でも複数回利用すればカウントしています。

もっと重大な事故等が発生した場合の対応はどのようになっているか。

「危機管理対策マニュアル」を作成しており、傷病者が発生した際の対応や午後9時以降、職員不在時における夜間警備員の対応、医療機関一覧等をまとめたものとなっています。

外部への対応等は。

いろいろ想定されますが、万が一の時には所長が対応することになります。

(4) アンケートの結果から

資料の2から15ページにより説明。

マイナス評価は食事のみなので、改善を考えるのであればアンケートの内容を工夫する必要があるのではないか。

数字ではありませんが、先生方からの意見欄の 印の部分が課題であると考えています。

アンケートについては毎年同じ設問となっており、変えるのは難しいと思うが、自由記述を踏まえて対応してほしい。

2 平成31年度(令和元年度)事業計画等について

(1) 運営方針について

資料の16ページにより説明。(質問なし)

(2) 利用計画について

年報の15、30ページにより説明。

7月は学校が休みになるために幼稚園・保育園の利用が多いのか。

7月第3週で学校が夏季休業となるため、幼稚園等に利用していただいています。

今年から若あゆでも座間市の学校の受入れを行っています。本年度から中学校の利用が選択制となり、施設の稼働率の確保の観点からも市内の学校の利用希望が少ない期間について座間市に声を掛けさせていただきました。

(3) 主催事業、地域連携、他課との連携計画について

年報16、31ページにより説明。

来年度の計画にかかわることであるが、1月にはしっかり計画が出来ている状況である。いつ頃までに提案や意見を出せばよいか。

気づいた時点でよいのでご意見等をいただければありがたいです。

3 協議・意見交換

ホームページの更新をもっと早くできないのか。特に「今週の一枚」が2ヶ月くらい更新されていないことがある。誰が更新を行っているのか。

更新作業は、職員が行っています。写真にはプライバシーにかかわる問題があり、確認に時間がかかっています。

学校によっては予め児童や保護者に承諾をとることで毎日のようにホームページが更新されているところもある。

自然を目の前にしてしか出来ない活動を出来ないか。

学校では授業日数の確保が課題であるのは事実であるが、施設を利用させてもらって感じたことは、子どもも先生も生き生きしていることである。不登校の児童を引率してきた際には指導主事が適切な声掛けを行うことで、児童の自己肯定感が高まった。

子ども会活動では、学校では学べないことについて活動していこうと取り組んでいる。

やませみは盆踊りの際に一般の人が中に入ることができるが、若あゆは一般の人が自由に立ち寄れるのか。

教育活動の場となっており、立ち入りは制限しています。

防犯の都合もあるだろうが、一日でも半日でも施設開放して市民に知ってもらう機会を設けてはどうか。

来年、オリンピックやパラリンピックが開催されるのに伴い、若あゆ・やませみでは何か関連事業等の予定はあるか。

やませみでは、関連事業が行われる可能性があります。

4 その他

今回は、1月か2月頃に来年度の事業計画と今年度事業の中間報告を行う予定である旨を事務局より報告した。

野外体験教室運営協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	福井 智紀	麻布大学	会長	出席
2	沢辺 雅子	陽光台小学校		出席
3	加藤 正樹	内郷中学校		出席
4	福田 豊	相模原市子供会育成連絡協議会		出席
5	近藤 和彦	相模原市スポーツ少年団		欠席
6	笹野 茂	下大島地区ふれあい農業組合		出席
7	佐藤 輝美	活動協力者		出席
8	中里 健	大島観光協会	副会長	出席
9	松石 藤夫	活動協力者		出席
10	鈴木 洋子	公募委員		出席
11	瀬間 一美	公募委員		出席